

科目名	足情報収集論			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	整形靴科1年	通年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕 足についての情報を収集する方法には、問診・触診・視診、足底圧、採寸・採型、歩行、使用中の靴の観察など、様々な方法があり、それらの方法を複合的に活用する必要がある。また、健康靴店、義肢装具会社、メーカーなど会社の業態によって採用される情報収集の方法・ツールが異なることを理解しておく必要がある。本授業では、様々な情報収集について、実際に使用・体験することでそのメリット・デメリットを比較検討し、必要に応じてそれらを適用・活用するための知識と選択能力の習得を目的とする。								
〔授業全体の内容の概要〕 通常の講義とともに、必要に応じて採寸や採型等足と靴に関する情報収集の実習やグループワーク、グループ発表等を行う。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 ①足・靴に関する情報収集の手法について、それぞれのメリット・デメリットを説明できる。 ②足の基本の採寸・採型方法、また、靴のフィッティングチェックの方法を修得する。 ③足からはもちろん、履いている靴、歩行等から、足・靴に関する情報収集ができる。 ④出された課題に対し、グループで協力して考察、まとめをし、発表することができる。								
回数	講義内容							
1	講義1：ガイダンス：整形靴技術における情報収集の位置づけ / 講義内容説明							
2	講義2：足の骨 / フットプリント（実習）							
3	講義3：フットプリントの取り方							
4	講義4：フットプリントから得られる情報							
5	講義5：いろいろなフットプリント：①ポドトラック（実習） ②フットスキャン							
6	講義6：フットプリントまとめ							
7	講義7：いろいろな足の採型方法：①巻き付け法（実習）							
8	講義8：巻き付け法の実習 / 足の採型②張り付け法（デモのみ）							
9	講義9：足の採型③キャストイングソックス（実習）							
10	講義10：足の採型④陽性モデル製作（実習）							
11	講義11：足の採型：各採型方法による陽性モデルの比較							
12	講義12：足の採型まとめ							
13	講義13：足の機能解剖学：形態的な特徴・体表解剖学							
14	講義14：足の観察：関節可動域など							
15	講義15：中間テスト（これまで学んだトピックスについて。確認テスト）							
16	講義16：足底圧の計測							
17	講義17：中間テスト解答							
18	講義18：いろいろな足底の採型方法と足底板製作システム							
19	講義19：足底の採型：トリッシュャムによる採型（実習）							
20	講義20：使用中の靴の観察（靴の使用による変化）							
21	講義21：問答による情報の収集・カルテ作り（グループワーク）							
22	講義22：作成したカルテの発表（グループ発表）							
23	講義23：作成したカルテの発表（グループ発表）							
24	講義24：作成したカルテの発表 / 靴のサイズシステムと靴、木型の選択方法							
25	講義25：足の採寸方法：採寸部位、採り方による違い							
26	講義26：靴の選び方とフィッティング・フィッティングのチェックポイント							
27	講義27：靴の選び方とフィッティング（実習）							
28	講義28：姿勢・歩行の観察							
29	講義29：姿勢・歩行の観察							
30	講義30：まとめテスト							
定期筆記試験								
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
基礎運動学 第6版			中村隆一 他			医歯薬出版株式会社		
配布資料								
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
中間テスト30%＋終講試験70%で評価								